

ちょっと気になる八王子マガジン

は ち よ ち ひ



2024年 新風号

No.56

Take Free

〈ご自由にお持ちください〉



生涯学習フェスティバルでの1コマ（「押し花みもぎ」による小物作りのようす）

特集

八王子の生涯学習

みんなが まなぶ いかす つながる

地域で学び合う 生涯学習の世界

誰もがいつでも学べる場所

ようこそ生涯学習センターへ

市民の学びを支えて、つなげる

八王子生涯学習コーディネーター会

元気印の市民団体紹介

コラム 八王子の民俗誌②

コラム 八王子自然探訪⑧

私の本はこうして生まれた 其の五十六

ユーモア・スピーチの会 八王子

母の文字が刻まれた地藏尊

自然の中で学び、触れ合って元気をもらう

『樹々を訪ねて — 感動の出会い』 牛尾征治 著

佐藤 広

粕谷 和夫

「生涯学習」ということを聞くと、陶芸や俳句の教室に通ったり、ゲートボールをしたり……と、リタイアされた高齢者の方が新たな趣味の世界を広げていく姿をイメージするかもしれませんが。でもこれはほんの一部です。実は老若男女あらゆる人びとの生活の、あらゆる機会にかかわる学びこそが生涯学習なのです。市の施策を追いつつ、生涯学習とはどのようなものなのか、その一端を見ていきます。

— みんなが まなぶ いかす つながる —

地域で学び合う 生涯学習の世界



生涯学習とは

「世論調査によると、市民の7割の方が何らかの生涯学習活動をしています。市ではこれを8割にする目標を立てています」

こう語るのは、市の生涯学習施策を統括している八王子市生涯学習政策課の鶴田徳昭さん。「昔は行政が準備する1から10まで自前主義の社会教育を展開していたのですが、現在は市民と協働で、より多元化している状況に対応した学びの場を提供していま

す」と続けます。

市に社会教育施設としての公民館が設置されたのは1962年のこと。市民会館に併

設される形で、市民大学や高齢者のための「ことぶき大学」、地域の主婦を対象にした「婦人学級」など、市民向けの講座を次々と開設していきましました。やがて郷土資料館や婦人センターなどでも同様に各種市民講座が開設され、行政の提供する学びの場が広がっていきます。

時代は移り変わり、1999年に都立図書館跡地に生涯学習センター（クリエイト

ホール）が開館し、中央公民館も移設されます（公民館は後に生涯学習センターと統合・改称）。

そもそも生涯学習とは、人びとが生涯を通じてあらゆる機会や場所で主体的に学ぶ行為すべてを指しています。趣味的な学びのほかにもボランティア活動や読書、さらには学校教育まで、その抱える範疇は幅広いので、行政内のみならずすべての部署が生涯学習にかかわっているといても過言ではありません。

たとえば行政が用意している場を挙げてみると、生涯学

八王子の生涯学習年表

生涯学習にまつわる出来事

年	生涯学習にまつわる出来事
1949	社会教育法制定
1950	八王子市教育委員会発足
1962	八王子市公民館開館
1966	八王子市青年学級開設
1967	八王子市郷土資料館開館／八王子市婦人センター開館
1972	八王子市社会教育指導員設置
1974	八王子市市民体育館開館／八王子市教育センター開館
1985	八王子市中央図書館開館
1989	八王子市子ども科学館開館
1990	生涯学習振興法制定
1993	八王子市生涯学習推進本部設置
1996	八王子市南大沢公民館開館
1997	八王子市川口公民館開館／八王子市生涯学習推進計画「つながる人の輪 わたしから」策定
1998	はちおうじ出前講座を開設
1999	クリエイトホールオープン
2001	八王子市教育委員会ホームページ開設
2003	クリエイトホール及び学園都市センター通年開館に／市の社会教育部を生涯学習スポーツ部に改称
2004	八王子生涯学習プラン策定／八王子生涯学習コーディネーター会発足
2007	八王子市公民館条例廃止、公民館を生涯学習センターに統合・改称／八王子市生涯学習審議会を設置
2009	大学コンソーシアム八王子設立
2014	エスフォルタアリーナ八王子開館

第19回 生涯学習フェスティバル

毎年秋、「生涯学習フェスティバル」がクリエイトホールで開催されます。市民がふれあい、学び合う交流の場とするため、クリエイトホール全館を使用して、ステージ発表や作品展示、体験コーナーなど盛りだくさん。ここでは2023年10月28日に開催された第19回のような様子をご紹介します。

()内は開催団体

*印の写真は八王子市学習支援課提供



講座「魅力満載 高尾山 ～らんまんの彩り わくわくの学び～」
(八王子生涯学習コーディネーター会)



カントリーラインダンス発表
(ロングホーン サルーン)



日本スポーツウエルネス吹矢体験会
(八王子市スポーツウエルネス吹矢協会)*



陶芸作品展示
(ウーマンセラミッククラブ)*



消費生活ミニセミナー
(八王子市消費生活センター)



生涯学習フェスティバルのキャッチ
フレーズに即した図書の展示
(生涯学習センター図書館)



コリントゲーム
(こすもす・だれでも食堂)

習センター、図書館、郷土資料館、こども科学館、市民体育館といった建物のみならず、市民講座やゆうゆうシニア講座、文化財の見て歩き、スポーツ教室、体育館の一般開放、ヘルシーウォーキング

といったイベント企画まで多岐にわたります。こうした場を通して、市民の新たな学びのきっかけを提供し、その後の自主的・継続的な学びの促進に努めているのです。

市民講座

その一つ、生涯学習センターで提供されている市民講座は、趣味・娯楽だけでなく、教養講座や体力づくり教

室など、幅広いテーマで参加者を募集しています(本誌P5参照)。こうした講座は、市民講座を管轄する学習支援課の職員が常日頃からアンテナを張って、市民のために必要と考えて立案したもので

中でも人気なのは、中高年の方に向けた講座や夏休みなどに開催される親子での物作り講座。また、スマホやパソコンの使い方を学んだり、身体を動かすような講座も定番で、多くの市民が参加しています。市民講座では、ただ求められるものを提供するだけではありません。「集客に苦労するテーマ、たとえば地域の問題について考えるような内容も行政で用意する必要はあると思うんです」と語るのは、学習支援課の松井洋一さん。市民にとって必要と考えられる学びを、硬軟織り交ぜたさまざまな角度から提供し続けているのです。

松井さんは「コロナ禍ではオンラインやYouTubeなどでも講座を展開しましたが、やはり人びとのニーズは実際に会場に来て、集まりたいというところにあるのだと改めて認識しました」と語ります。「休館では困る」という市民の意見もあり、リアルな学びの場を提供する重要性を感じているそうです。

生涯学習情報の発信

もちろん生涯学習は行政を通じてだけでなく、いつでもどこでもかかわることのできるものです。行政の提供する事業のほかにも、個人的な勉強もそうですし、市民センターでのサークル活動も立派な生涯学習です。

市ではそうした個人々の学習支援を積極的に行っています。たとえば図書館ではICT化を特に強く推し進め、電子書籍をはじめとしたオンラインサービスを充実させています。ほかにも各小学校で展開している放課後子ども教室

では、子どもたちに放課後の居場所づくりだけでなく、学習支援や工作・スポーツといった体験活動など、1人ひとりの個性に合った新たな学びの場も提供しています。

また、情報発信にも力を入れています。市民にとって一番身近な生涯学習情報といえ、**「広報はちおうじ」**を思い浮かべる方も多いでしょう。実際、紙面をよく見る

と、掲載されているのはほとんどが市内の生涯学習に関連する情報であることに気づきます。紙の媒体だけでなく、最近ではホームページやSNSなどでも情報を発信しています。2021年に登場した**「はちリカ」**というアプリは、市の企画した講座のほかに、いちよう塾や大学の公開講座など、市内のあらゆる講座情報が掲載されています。カテゴリやカレンダー、キーワードなどですぐに検索でき、学びたい講座を選ぶことができる優れものです。

学びを地域に還元

〇〇ができた、〇〇が分かったといった体験は、私たちの暮らしをより豊かなものとし、人生の生きがいにもつながります。そのきっかけとして、まず身近にどのような学びの場があり、どのような学びが得られるのかを知ることが大切です。

市では、ここまで見てきたようにさまざまな施策を展開し、講座を無料としたり、有

八王子の生涯学習情報の調べ方

その① **市広報**
講座・イベント情報をチェック!



その② **市ホームページ (情報広場)**
サークルを探すならココ!!



その③ **はちリカ**
スマホでも気軽に♪



料でもできるだけ安価にすることで気軽に学べる場を提供しています。

何より市内には、学びの対象がまだまだたくさんあります。「日本遺産に認定されましたが、これからはさらに八王子ならではの地域資源を活かしていきたいですね」と鶴田さんが抱負を語るように、八王子そのものも生涯学習の範疇となるでしょう。そし

て、その先に目指しているのは、個人で完結させず、学んだことを地域へ還元していくような学びの姿です。

八王子の生涯学習の歴史を振り返ると、公民館などで用意された学びの場をきっかけに、いくつもの自主的に学び合うグループや研究会が生まれ、地域の仲間とともに福祉や自然保護、消費者問題などの社会課題にも向き合ってきた。

ました。決して楽しいテーマだけでありませんが、ふとした生涯学習の学びが、新たな学びの扉を開ききっかけとなり、それがひいては新たな出会いを生み、「より良い八王子」を築いていくことにつながっていかもかもしれません。あなたもすぐそばにある広大な学びの世界へ一歩を踏み出してみたいかがでしょうか。

いろいろな市民講座

編物にチャレンジ

〜アフガン編みで
ベストと小物を作ろう〜

講師：日本編物文化協会会員・全国手芸講師協会
会会員 和田キミ子さん
場所：生涯学習センター 学習室

「編み物八王子同好会」の会員が講師となつて、毎年開催している人気講座。今回はふつうの編み棒よりやや長いアフガン針を使うのがポイント。講師と3人のスタッフが、初心者からベテランまで、さまざまな受講者を丁寧に指導しながら、5日間で作品の完成を目指す。



川口学

〜川口の歴史を知ろう〜

講師：川口郷土史研究会 瀬沼秀雄さん
場所：生涯学習センター 川口分館 視聴覚室

2022年度から始まった川口ならではの地域密着連続講座。「川口学」と称して歴史、民俗（獅子舞）、自然の3つの講座を開設し、地元で活動する講師陣が地域の魅力を発信する。特に川口エリアの方々が、自らの足元を見つめ直せるような学び合いの機会を設けている。

*2023年度は事情により未実施
写真提供は川口郷土史研究会の田中康雄さん

冷え解消・温かい体作り
〜リンパと呼吸を自分で整える〜

講師：プロフェッショナルコンディショニング
トレーナー 金近道純さん
場所：生涯学習センター レクリエーション室

体のバランスを整え、調子を良くするための運動を指南する講座で、昨年度からスタート。好評のため、今年度は春、秋2回、さらに午前午後1日2回の講座も開設した。今回は呼吸と体内の老廃物を運ぶリンパを整える運動をし、現代人特有の体のゆがみをほぐしていく。



もうこそ

生涯学習センターへ

生涯学習情報や学習機会の提供、交流などの場として、市内には3つの生涯学習センターがあります。「学ぶために、まず何から始めればいいのか?」「どんな講座があるのか?」「グループで学習するための場所はないのか?」など、学びに関するさまざまな相談に応じています。思い立ったら、まずお近くの生涯学習センターへ気軽に足を運んでみましょう。

*写真は八王子市学習支援課提供

生涯学習センター (クリエイトホール)



▲第2学習室



▲視聴覚室



▲試食コーナー



▲ホール



▲展示室



▲レクリエーション室

休館日

原則として毎月第1火曜日、年末年始

開館時間

9時～22時

施設内設備

情報プラザ、スタジオ、調整室、録音編集室2、創作室2、乾燥室、陶芸炉室、ホール、展示室、レクリエーション室、料理講習室、試食コーナー、和室2、茶室、水屋、学習室7、視聴覚室

住所…東町5番6号 クリエイトホール内
TEL…64812231

1999年中央公民館移設
2007年生涯学習センターと統合

▶外観(西側)





生涯学習センター南大沢分館



▲第1学習室



▲第3学習室



▲料理講習室

1996年南大沢公民館開設
2007年名称変更

住所…南大沢2丁目27番地
TEL…679-2208

施設内設備
学習室4、視聴覚室、創作室2、陶芸炉室、料理講習室、和室

開館時間
9時～21時30分

休館日
第2月曜日、年末年始



▶南大沢分館入口

生涯学習センター川口分館



▲第1学習室



▲第1創作室



▲和室

1997年川口公民館開設
2007年名称変更

住所…川口町3838番地
川口やまゆり館2階
TEL…654-8450

施設内設備
学習室3、創作室2、視聴覚室、和室、陶芸炉室

開館時間
9時～21時30分

休館日
第2・4月曜日、年末年始



▶川口分館入口

市民の学びを支えて、つなげる

八王子生涯学習 コーディネーター会

市内各所で展開されている生涯学習ですが、八王子には縁の下の力持ちとして活躍している心強い味方、「八王子生涯学習コーディネーター会」があり、私たちの学びがよりスムーズになるような活動を続けています。会の取り組みから生涯学習を円滑に進めるコツについて考えてみます。



〰 生涯学習を学ぶ

「八王子生涯学習コーディネーター会」は、2003年に八王子市教育委員会が主催した「生涯学習コーディネーター入門・養成講座」修了者の有志が集い、翌年に発足したグループです。2016年にはNPO法人格を取得しました。

発足の契機となった生涯学習コーディネーター養成講座は、毎年初夏に講義やワークショップなどを通して、「地域情報の活用力」「企画力」「調整力」を習得できるようなプログラムを提供しています。3日間の講座修了時にメンバーを募集し、修了者の多くが入会します。リタイアされた方から30代の若手まで、参加者の年齢層はさまざま。現在、会では八王子市教育委員会との共催として講座の企画立案にもかわり、講義やワークショップの講師も務めています。

〰 講座から会の活動へ

2008年の7期目の養成講座に参加したのが、現在理事長を務めている大倉弘美さんです。当時、主婦として子育てを終えた大倉さんが、空いた時間のできることを探していたところ、

見つけたのがこの講座でした。

「生涯学習コーディネーター養成講座」というと、とっつきにくい印象がありますが、「私が入った当時は『生涯学習』という言葉が世に定着し始めたところで、輝いて見えたんですよ」と大倉さん。現在は、会の運営を担いながら、学校サポーターの活動もしています。

養成講座では修了証はあるものの、何か資格を得られるわけではありません。会には入らず、自分のやり方で活動を展開する方もいますが、多くの仲間とともに活動するからこそ、生涯学習の楽しさを感じることができそうです。

2023年に21期生として受講した正名邦彦さんもその1人。

正名さんは、町会の役員などを務める中で、もっと上手く物事を進めるにはどうすれば良いか考えていたときに

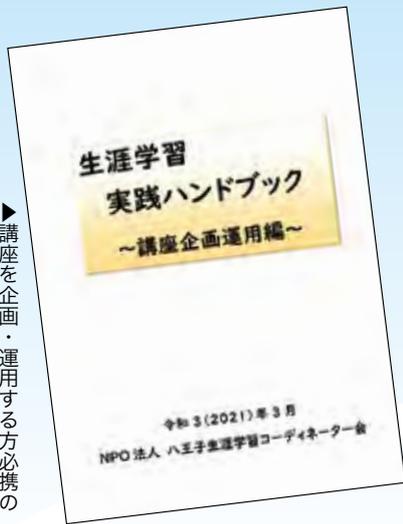


▲左から理事長の大倉弘美さん、事務局長の山中馨さん

講座に出会い、入会しました。会で学んだ知識や経験だけでなく、近所を散策した際に自然のようすを観察したり、新聞記事を読んだりして得た知識を、勤務する会社の社内共有のLINEや自治会での会議で積極的に伝えていきます。正名さんは「自ら学んだことを周囲に伝えていく、こういう形こそ生涯学習の本来の姿なのかもしれませぬ」と語ります。

生涯学習をサポート

会の活動は一言で言えば、市民の生涯学習活動の支援です。たとえば、毎年秋に開催される「生涯学習フェスティバル」の運営や、小学校に向いての出張体験講座などを企画、提案し、運営のサポートをしています。また、生涯学習センター南大沢分館主催



▶講座を企画・運用する方必携のハンドブックも作成

の「めかい作り講座」もサポート。かつて「生涯学習の集いイン南大沢」で開催していたこの講座を分館と共催という形で継続し、毎回40〜50人が応募する人気講座となっています。

このほか、年2回「悠々楽習」という会報を発行したり、自らが講座を企画運営するために必要な情報満載の『生涯学習実践ハンドブック』を作成するなど、生涯学習にまつわるあらゆる情報発信に努めています。

さらには会としての自主講座も開催。最近では、性や介護など、多くの人にとって身近な問題をテーマに取り上げた講座を企画しています。

会員には教員や会社員、市民運動に関わる方など、さまざまな背景をもった方が集まっています。それぞれの知識や経験が、自主企画などでも活かされ、会の活性化にもつながっているのです。

自分も楽しみ、社会にもつながる

現在、会員は30名。月1回、第1土曜、クリエイトホールで定例の事業推進会議を開催しています。養成講座に参加せずとも、会の活動に興味がある方などなたでも入会できます。ただ、会名に「コーディネーター」とあるように、いろいろな人や物とのつな



▶自主企画講座「頑張りすぎない介護」のようす

がり的大事になるため、各方面に対してこまめな対応ができる方を必要としているとのこと。

「社会につながる人を増やすことこそ、コーディネーターの意義であり、これこそが会の存在意義ではないでしょうか」と語るのは事務局長の山中馨さん。正名さんのように、自らの学びを仲間とともに社会に広げていくお手伝いをしているのが、八王子生涯学習コーディネーター会の役割といえるかもしれません。そのためにも今後は活動に参加してもらえる仲間をもっと増やし、自分たちで企画を1から積み上げていく自主講座をより多く展開し



▲生涯学習フェスティバルに参加した会のみなさん(左から5番目が正名邦彦さん)

ていきたいと会では目標を掲げています。

とはいえ、その原動力となっているのは、あくまで「学びたい」という個人の意欲です。大倉さんが「この会にかかわることも、自分の生涯学習となっているのかもしれない」と語るように、自らの学びが自然と心豊かな社会の創造につながっている、そんな活動を八王子生涯学習コーディネーター会では展開しています。

●八王子生涯学習コーディネーター会
 ☒ coka1802@yahoo.co.jp
 年会費 3,500円(正会員)



の市民団体紹介

応援します
市民力。

市内で活躍する元気な団体・サークル・同好会を紹介するコーナーです。
活動内容やイベント情報など、編集部までお知らせください。

- ◆会費：年会費1000円、運営費500円/月
- ◆活動日：毎月第4土曜日午後
- ◆お問い合わせ先：shindoh62@yahoo.co.jp (進藤)

ユーモア・スピーチの会 八王子

笑いを生み出す仲間たち



▲笑顔の絶えない会のみなさん

「ユーモア・スピーチの会 八王子」が誕生したのは2007年3月。八王子生涯学習コーディネーター会で立ち上がった「笑いの大研究」というサークルを母体に発足しました。以来15年以上、毎月会合を重ね、現在は約20名の会員が活動を続けています。

会を立ち上げた代表の進藤はだめさんは開口一番、「昔は神童と呼ばれてたんだけど」と自身の名前にかけたあいさつでひと笑い。月1回の会合では、事前に出されたお

題を元に、各自練り上げたなぞかけを次々と繰り出します。手を挙げて「○○とかけて△△と解く」と喋ると、全員が「その心は」と返し、各々とおきの解答を披露。そのたびに会場は笑いに包まれます。

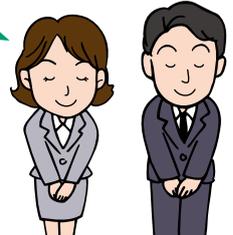
コロナ禍もあって、一時は月1回集まることもままならなかったのですが、現在は会合も復活し、少しずつ他のイベントにも顔を出せるようになっていきました。これまで笑いにまつわる情報をまとめた『笑いの大事典』を作成したり、お笑い芸人を呼んで「笑いの集いイン八王子」というイベントを開催したり、「高山爆笑ハイキング」と称して山登りを実施するなど、幅広く活動しています。

「みんなで集まった後には、喉を潤す一杯が定番」と語る進藤さん。ユーモアを理解してくれる人であれば老若男女誰でも会員になれるとのこと。メンバー、ひいては周りのみんなを巻き込んだ「一日十笑」を目指して、今日も新たな笑いが生み出されています。

はちとぴサポーターの会 会計報告

90,000円 (2022年12月11日 ~ 2023年12月10日)

心よりお礼申し上げます。
引き続きよろしくお祈りします。



はちとぴ32号にて「はちとぴサポーターの会」を立ち上げ、読者の皆さまに広くご寄付をお願いしました。その結果、非常に多くの方々より温かいご支援を賜りました。厚く御礼申し上げますとともに、上記の通り会計報告いたします。賜りました浄財をもとに今後とも魅力的な誌面づくりに努めます。

振込先 【はちとぴサポーターの会】

ゆうちょ銀行 □座番号 00110-4-0514170
※お問い合わせは【揺籃社→☎042-620-2615】

一口 1,000円
随時受付

※年1回、誌上にて会計報告します
※収集した個人情報は無断使用いたしません

はちとぴサポーター特典！ ご寄付いただいた方には本誌を自宅まで郵送します